

第8回 倉敷市教育委員会議事録

1	開催期日	令和2年8月7日(金)	
2	開会及び閉会時刻	開会時刻 13時 閉会時刻 13時30分	
3	場所	教育委員室	
4	出席者	井上正義	
		仁科正己	
		難波弘志	
		沼本浩彰	
5	会議に出席した事務局又は教育機関の職員の職氏名		
	職名	氏名	職名
	教育次長	黒瀬敏弘	
	参事	辻一幸	
	部長	三木宏之	
	次長	笠原和彦	
	課長	長野渉	
6	教育長等の報告		
-----			

7 議題 議案第41号 令和3年度使用教科用図書の採択について

8 議事の概要, 質問した者の氏名及びその要旨並びに議決事項  
別紙のとおり

9 傍聴の状況

公開

傍聴人 1名

議事録者氏名 堀内 秀和

議事録署名委員

教育長 井上 正義

委員 仁科 正己

〈教育長〉 只今から、教育委員会を開催致します。  
只今のご出席は4名、会議は成立致しました。  
まず、初めに前回の会議録のご確認を頂くところですが、今回は急遽の開催  
ということで、前回と今回の議事録をあわせて、次回の会議の際にまとめて  
ご確認頂くこととさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致し  
ます。

まず議案第41号令和3年度使用教科用図書採択につきましては、倉敷市  
教育委員会会議規則第5条に基き、非公開で最後に審議することとし、その  
他は公開としてよろしいでしょうか？

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 それでは、ご異議ないようですので議案第41号は、非公開で最後に審議す  
ることとし、その他は、公開と致します。

本日の傍聴希望者は1名です。

傍聴者は、倉敷市教育委員会傍聴人規則に従って傍聴してください。

それでは審議に入ります。協議第3号幼保連携型認定こども園に関する  
意見聴取についてのご説明を、三木部長お願い致します。

〈三木部長〉 学校教育部三木でございます。

協議第3号幼保連携型認定こども園に関する意見聴取についてご説明を  
致します。

今回協議をお願い致しますのは、幼保連携型認定こども園に関する意見聴取  
についてでございます。

これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定に  
より、ここに示させて頂くもので、同法では幼保連携型認定こども園実施に

伴い当該教育委員会の意見を聞かなければならないものとされております。

この度、倉敷市立庄幼稚園が単独移行して幼保連携型認定こども園を設置する事につきまして、倉敷市幼保連携型認定こども園に関する意見を聴取する事務を定める規則第3号の規定により、倉敷市長から意見を求められているものでございます。

まず計画についてですが、初めに2ページ3ページを開いてください。

倉敷市教育委員会と保健福祉局が協議をして作成しました公立幼稚園・公立保育園の適正配置計画、平成27年から平成31年度分の令和元年度公表分でございます。

この中の右側3ページ「3（2）、認定こども園の移行について」のうち、ア 倉敷地区の所に書かれているとおり、平成30年から令和2年度整備分として庄幼稚園を認定こども園へ移行することについて既に公表いたしているところでございます。続いて1ページに戻ってください。3に対象園である倉敷市立庄幼稚園の概要を示しております。

倉敷市立庄幼稚園は、昭和24年に設立され現在157名で入園している状況です。近年保護者が就労しているケースが多くなり、そういった保護者の保育ニーズに応えるため、3歳以上の子どもを受け入れる認定こども園へと移行することとし、「4 園の概要」にありますように、現在の幼稚園の場所で整備を進めております。

なお、幼稚園が認定こども園になることよっての大きな変更点は、給食の提供がされるということ。また、2号認定の子どもを受けるということでございます。

今後、令和2年9月以降順次、在園児や新入園児の保護者への説明会や園見学会を開催していく予定になっており、令和3年4月の開園に向けて準備を

進めてまいりたいと考えております。

以上で説明を終わります。ご審議のほどをよろしくお願い致します。

〈教育長〉 ありがとうございます。

それでは、ご質問ご意見等がありましたら、お願い致します。

〈難波委員〉 以前より、認定こども園への移行に関しては色々と意見を聞かせて頂いています。今回の庄幼稚園は園児数の多い大きな幼稚園のようですが、単独移行してのこども園の設置とのことですが、ぜひ地域の声を聞きながら進めて頂ければと思っていますので、よろしくお願い致します。

〈教育長〉 私の方からひとつ、0歳児から2歳児まで今のところ、何名くらい来るか予想はできていますか。

〈三木部長〉 今回庄に設定するのは、3歳以上ということで1号2号については3歳以上。保育園はまだ庄保育園が存続しますので、0歳から2歳については、保育園のほうでお願いしたいと思います。

〈教育長〉 では、認定こども園は、0歳から持っている所と、3歳以上とで分けられると言うことですね。

倉敷市全体でいうと、0歳から受け入れる所と3歳から受け入れる所と比率はどれくらいになるんですか。

〈三木部長〉 すべての所は分かりませんが、0歳から受け入れているところのほうが多いと思います。

〈教育長〉 例えば今、庄保育園に行かれています方がそのまま庄小学校に上がられるわけでは無いわけですね。

〈三木部長〉 庄保育園の0歳から5歳まで行かれる方はそのまま行かれると思います。

3歳からの保育を希望される方で、認定こども園に行かれる方はそこからも行かれると。ですから保育園と認定こども園と並行してある形になると思

ます。

〈教育長〉 でもこれができるのは、近くに保育園がやっぱりないとなかなかこういう形ではやっていけないということになるんですか。

〈三木部長〉 保育園自体がしっかりしておりますので保育園規模は残しておき、それから規模的なものから庄幼稚園自体も大きいんですが、保育園もあって一緒になると、さらに大きくなります。ですから、園の敷地面積とかそういった規模を配慮した結果、3歳以上で受けようと致しました。

〈教育長〉 他はよろしいでしょうか。

ではこの協議内容をふまえて、今後の対応の方をよろしくお願い致します。

【以降、非公開による審議】